活動名・単元名

対　象（　　　　　　　　　　　　　　　　）

１　食に関わる実態（これまでの生活経験・課題として感じること）

２　ねらい（～をして…な子どもになったらいいな）

３　活動・単元の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時　間 | 活　動　内　容 | どこで・誰と・必要な物など |
|  |  |  |

４．SDGｓとのつながりを考える。

グループワークの進め方とみんなが研修を楽しむためのルール（案）

＜グループワークの進め方＞

　　**グループワーク①　２０分間**

ここでは、ワークシート１の項目「食に関わる実態」を明確にしていきます。

例示したようなことをグループ一人一人が紹介していきます。ここで大切なルールは、

**１回に話すことは一つだけにする。例えば、「食育に関わってしていること」を話したら、次の人に**

**回す。次に自分の順番に回ってきたときに「気になる子どもの姿」を話す。**というように、参加者みん

なが何回も話せるようにしましょう。（１回に話す時間は、１分間以内を心がけましょう）

　　　他の参加者の話を聴いて自分にも当てはまると思ったらワークシートに書き込みます。こうしてグル

　　ープワーク①の終了時にはワークシート１「食に関わる実態」が完成するようにします。

　**講師からの事例紹介　１５分間**

**グループワーク②　２０分間**

　　ここでは、講師の事例紹介や『うちの郷土料理』サイトを参考にしながら、ワークシート２の項目「ね

らい」を明確にしていきます。ここで大切なルールは、

　**他者の実現の可能性を否定しないことです。例えば「そんな時間ないよ。」「～な人はいないんじゃないか。」などと相手の「やってみたい」を批判しません。**ここでは、各参加者の夢や希望を語り合う場です。積極的に「～な料理がいいかも。」「…なことができたらおもしろいね。」「～な人と一緒にやったらよさそう。」など前向きな意見をどんどん出しましょう。できるか、できないかは各自がそれぞれの場面で判断すればよいことです。小さな付箋を用意して思いついたことや他者からのアドバイスをどんどんメモしておくと良いでしょう。こうしてワークシート２「ねらい」を完成させます。

講師からワークシート３「活動・単元の展開」の書き方について説明

**グループワーク③　５分間**

　ここでは、講師の説明を受けてワークシート３「活動・単元の展開」の書き方の見通しを立てます。

どんなことをしようと考えているかを聴き合い、気になることを確認し合います。必要に応じて講師に質問します。

**課題解決方法の検討　４０分間**

　ここで、ワークシート３「活動・単元の展開」を作成します。

まず、その活動を「いつ」「どれだけの時間を使って」実施するのかイメージします。１単位時間でじっしするのか、数時間使うのか、ある時期にまとめて行うのか、年間を通してその都度行うのかを考えます。それによって、シートの左「時間」が“分”“○月”“１学期”というように異なってきます。

　次に「何を、誰に、どんな場で」を考えながら真ん中「活動内容」を考えます。その際、…に出掛けたい、～な人の力を借りたい、△についての資料が必要、□の行事に合わせたい等気付いたことを右側「どこで・誰と・必要な物など」に書き込みます。

ワークシート上の「活動名・単元名」は最初に書かなくてもいいです。むしろ、研修が進むにつれて明確になっていくので、最後に書くこともあります。

**グループワーク④　５分間**

SDGｓとのつながりを考えましょう。（「児童用テキスト名」、〇〇ページを参照）

**発表の準備　１５分間**

　３分間で発表できるよう、メンバーと交流します。